

相談支援だより



令和6年 12月23日発行

岩戸支援学校 支援連携グループ相談・地域支援班

布団から出るのが辛い季節になりました。今年は秋を飛ばして、一気に冬に突入してしまった印象です。陽が落ちるのが早くなり、年末に向けソワソワ…交通事故が増える時期でもあります。いつも以上に気を引き締めたいですね！

さて、今回の相談支援だよりでは保護者の方からいただいた質問や提案（【相談の先生ってどんな仕事をしているの？】と【卒業後あるある】）について取り上げます。ぜひ一読ください！



永田先生

保護者の方から「相談担当や専門職の先生ってどんな仕事をしているの？」という質問をいただきました。Q&Aの形で【相談担当、専門職の仕事】について教えていただきます。高橋先生、菊地先生よろしくお願いします。まずは普段どのような仕事しているのか教えてください。

校内での仕事は大きく分けて3つあります。

①生徒からの相談

【昼休みの相談】として週に2回程度実施してます。悩みはもちろん、好きな芸能人やゲーム話などなんでもOKです！

②保護者や教員からの相談

悩みや気になることを伺い、一緒に支援方法を考えたり必要に応じて外部機関につないだりするための窓口となります。

③校内の巡回やヘルプ

可能な限り生徒の様子を見に行き、普段と変わった様子はないか確認しています。状況に応じて授業等のヘルプにも入ります。



菊地先生



高橋先生

校内を巡回し、一緒に授業に参加しながら生徒の様子を観察評価することに時間を費やしています。作業療法士としての視点から、生徒だけではなく教員も支援することで教員の支援力や授業力が向上し、生徒の学びや成長につながるよう意識しながら仕事をしています。先生方と対話することが自分自身の成長にもつながっています。



永田先生

なるほど、生徒や保護者だけでなく、先生方から相談されることや支援することもあるんですね。「校内」での仕事ということは「校外」での仕事もあるということでしょうか？

学校外に出ていくこともあります。校外の仕事は大きく分けると2つあります。

①会議等への参加

関係機関（他校種学校、福祉や医療等）との連携を深めるため地域の様々な会議等に参加しています。各機関の専門家が集まるので、非常に勉強になります。本校からは日々の取り組みの様子やセンター的機能としての役割等について発信しています。

センター的機能推進協議会では湘南東部横須賀地区の特別支援学校の相談担当や専門職の先生方と事例検討会を実施し、支援の引き出しを増やしています。

②巡回相談

地域の学校（主に中学校、高校、湘南東部横須賀地区の特別支援学校）に行き、生徒の見立てや有効な支援方法、よりよい授業の進め方等について先生方と一緒に考えています。



菊地先生



高橋先生



永田先生

巡回相談では生徒の様子を見て、見立てや支援方法を先生方に一緒に考えるのですが、その際に大切にしていることや気をつけていることはありますか？また、やりがいを感じる瞬間を教えてください。

現在の環境の中ですぐに取り組めそうなことや障害理解や支援方法について、その学校全体で考えるきっかけとなるような言葉で伝えることを心がけています。生徒の得意なことや長所を見つけられた時、支援や工夫によって苦手なことにもチャレンジできた時、外部機関との連携により生徒や保護者の日常を支えられた時にやりがいを感じます。



菊地先生

押しつけにならないよう、各校の現状を踏まえた上で先生方が生徒を支援しやすい方法はどんな方法かを考えるようにしています。その方法がうまくいくことは当然大切なのですが、それ以上に”こんな支援方法もあるんだ”とか”この視点が大切なんだな”などが先生方の気づきにつながり、次の支援へのアプローチのヒントになったり、他の先生へのアドバイスにつながったりすることで、生徒への支援の厚みが増していく場面が見受けられた時にやりがいを感じます。



高橋先生



永田先生

今回紹介した以外に他校等の研修講師として出かけたり、関係機関との情報共有やカンファレンスの日程調整のやりとりをしたり...表には見えにくい様々な仕事をされています。

高橋先生、菊地先生ありがとうございました。今後の活躍も期待しています！



岩戸さくら

先生のイラストは本校生徒が描いてくれました。とっても上手ですね♪